

平成29年度 全国中学校体育大会
第39回 全国中学校軟式野球大会
 「感動! 夢舞台!! 絆をつなげ 九州の地で!」



【準々決勝】白老町立白翔中学校(北海道:北海道) 対 京都市立桂中学校(近畿:京都府)

白翔中 最終回に追いつかれるも勝負強い打撃でサヨナラ勝利!
桂中 チャンスを確実に得点につなげるも及ばず

【平成29年8月20日(日) KIRISHIMAサンマリスタジアム宮崎 第1試合】

試合開始 8:59 試合終了 10:26 試合時間 1時間21分(中断6分)

チーム名		1	2	3	4	5	6	7					計
桂	京都府	0	0	0	0	1	0	1					2
白翔	北海道	1	1	0	0	0	0	1×					3

球審 [黒木(優)] 塁審(一) [養毛] 塁審(二) [森山] 塁審(三) [田原]
 ◆バッテリー (桂) 古谷、城山-伊勢村 (白) 根本、人見、根本-鈴木
 ◆二塁打 正田(桂) 根本(白)
 ◆三塁打
 ◆本塁打

【試合経過】

1回裏、白翔中は桂中先発古谷君の立ち上がりを攻め、3番根本君が左中間を破る二塁打を放つと、4番小西君が左前適時安打を放ち、幸先よく1点を先取した。更に、続く2回裏、7番波多君、8番村上(駿)君の連続安打、盗塁で一死二・三塁にすると、9番樋江井君が中前適時打を放ち2対0とリードした。反撃に転じたい桂中は5回表、白翔中の先発根本君に代わった人見君から、5番正田君が右中間を破る二塁打を放つと、犠打で三塁に走者を進め、7番原君の犠打で1点差に詰め寄る。7回表、白翔中は主戦根本君を再びマウンドに戻し抑えに入るが、桂中は、四球、盗塁等で二死三塁の同点機を作ると、6番寺井君がしぶとく中前適時安打を放ち、土壇場で追いつく。その裏、白翔中は、四球、犠打で一死二塁のサヨナラの場面を迎えると、9番樋江井君がこの日2本目の適時打を右前に放ち、接戦をものにした。



【サヨナラ安打を含め大活躍の樋江井君】



【最終回同点打を放った寺井君】

【監督談話】 京都市立桂中学校

梅本 隆三 監督

相手チームは強かったのも、冷静に甘い球やファーストストライクを狙っていった。最終回で追いつけたことで、最後まで諦めないことが人生において大切であると感じてもらえたと思う。昨年、全中に出場した先輩の姿を見て、今チームも主将を中心に基礎的な練習や気付きの行動を意識することでチーム力の向上に繋がった。

【監督談話】 白老町立白翔中学校

阿部 拓実 監督

簡単には勝たせてもらえなかった。勉強になる試合だった。打って点数が取れるうれしい戦いができた。序盤のチャンスを逃さなかった。点差に応じた守備ができたこと、最後まで粘り強く守ったことがサヨナラ勝ちにつながった。これに満足せず一戦必勝でがんばりたい。桂中学校も素晴らしいチーム、対戦できて良かった。

桂	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
⑧1 城山 律樹	3	0	0	0	0	0	0	1
⑨ 野口 修也	3	0	0	0	0	0	0	1
② 伊勢村 勇人	3	0	0	0	0	0	0	1
③ 上嶋 颯汰	2	1	0	0	0	1	1	1
⑦ 正田 晃斗	3	1	1	0	0	0	0	2
⑥ 寺井 悠人	2	0	2	1	1	0	0	0
⑤ 鳳山 雄太	1	0	0	0	0	0	0	0
8 原 龍之介	0	0	0	1	1	0	0	0
①5 古谷 光希	2	0	0	0	0	0	0	0
④ 畠中 大貴	2	0	0	0	0	0	0	0
計	21	2	3	2	2	1	1	6

白翔	打数	得点	安打	打点	犠打	四死	盗塁	三振
⑥16 人見 純矢	2	0	0	0	0	1	1	2
④ 宮下 彪彦	3	0	1	0	0	0	0	0
①71 根本 悠楓	3	1	1	0	0	0	0	0
③ 小西 徹	3	0	1	1	0	0	0	0
⑤ 宮田 瑠夏	3	0	0	0	0	0	0	1
② 鈴木 周羽	3	0	0	0	0	0	0	1
⑦67 波多 悠汰	2	2	1	0	0	1	0	0
⑧ 村上駿太郎	1	0	1	0	1	1	0	0
⑨ 樋江井 啄真	3	0	2	2	0	0	0	0
計	23	3	7	3	1	3	1	4

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
古谷 光希	3回	14	46	6	0	2	2
城山 律樹	3回 1/3	13	51	1	3	2	1

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	四死	三振	失点
根本 悠楓	4回	13	40	1	0	5	0
人見 純矢	2回	7	19	1	0	0	1
根本 悠楓	1回	4	19	1	1	1	1

